デイサービスセンター

星の郷便り

令和7年

7月号

もう今年も半分が過ぎました。今回は自立支援についてのお話です。

うらの植木や林も、雨と太陽で青々と茂っています。どの分野でも少子化で人手不足が叫ばれています。介護においても同様で、生産性向上を国が後押しする形で動いています。
具体的には、記録のデジタル化（星の郷は4年前まで紙のカルテでした）や機器、ロボットの活用などいろいろな方面で提案がされています。

どうしても人間の手が必要な食事、入浴、食事などの直接介助や見守り声掛け支援は職員が介助するようにしています。介護保険の目的は「介護が必要な状態になっても、その人らしさを尊重し、自立した日常生活継続できるようにする」ことです。自分で出来ていることや、工夫すれば出来そうなことはまずは、自分でやってもらう支援も必要だと考えています。
すぐそこいるのに、”手伝ってくれない冷たい職員もいるもんだ”と思う方もなかにはあるかもしれませんが、職員が、ADL（日常生活動作）を把握していて、自立を促している場面と受け取り下さい。住み慣れた自宅でいつまでも過ごせるように、各専門職が関わって、持病の悪化の防止や転倒予防、この暑い時期ですと熱中症など、体調面の管理もしていきます。

防災訓練を行いました。
非常時は慌てずに、職員の誘導に従って下さい

7月

空き状況が変化していますのでお気軽に相談ください

星の郷デイ　空き情報					
月	火	水	木	金	土
×	×	△	△	×	○
○：空きあり　△：空きわずか　×：キャンセル待ち					

デイサービスセンター　星の郷
☎：23-3460　担当：鈴木・市川
ホームページ
http://www.hoshi-no-sato.or.jp